

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22220008	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	再生医療用ナノ・マイクロプラットフォームの創製	研究代表者 (所属・職)	生田 幸士 (東京大学・先端科学技術研究センター・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究の目的は、3次元ナノ加工プロセス、マイクロアクチュエータ、微小力センシング、ナノ機能材料等の要素技術をシステム化し細胞に生化学的および機械的刺激をピンポイントで与え分化誘導を制御する再生医療用プラットフォームの開発である。そのための技術開発は計画どおりに進捗している。</p> <p>しかし、最終的に実現化に向けて最も重要なナノ・マイクロ・マクロを統合するシステムの具体案や、再生させた3次元機能組織移植の優位性に関する展望が依然として不明瞭であり、やや研究内容・成果の公表が少ないことにもつながっていると考えられる。研究計画の後半は、これらの点での更なる努力と進展を期待する。</p>	